

三〇三九番

夕ゆふへお置おきて 朝あしたは消けぬる 白露しらつゆの 消けぬべき恋こひも
我あれはするかも

三〇四〇番

後のちつひに 妹いもに逢あはむと 朝露あさつゆの 命いのちは生いけり
恋こひは繁しげけど

三〇四一番

朝あさな朝あさな 草くさの上うへ白しろく 置おく露つゆの 消けなば共ともにと
言いひし君きみはも

三〇四二番

朝日あさひさす 春かすが日がのを小野のに 置おく露つゆの 消けぬべき我あ
が身み 惜をしけくもなし